

～途上国等の顧客ニーズを反映した医療機器デザイン～

平成30年度 開発途上国・新興国等における 医療技術等実用化研究事業成果報告会

開発途上国・新興国では、日本とは異なる医療現場のニーズがあり、そのニーズに対応した医療機器開発の重要度がえています。顧客体験を中心に据えたプロダクト・デザイン（開発・設計を含む広義のデザイン）は、医療の現場でも導入されつつあります。日本医療研究開発機構では、日本とは異なる公衆衛生上の課題を抱えている開発途上国・新興国等における医療機器に対するニーズや価格水準に基づいた製品開発を行うために、実際に開発途上国の臨床現場で、バイオデザイン等デザインアプローチを用いたニーズの発見やコンセプト作成と上市に必要とされる研究開発の支援を行っております。

この度、本事業の平成30年度課題の成果について、その成果およびそこで得られた知見を開発途上国・新興国等への国際展開を目指す国内の医療機器メーカーの企業経営者や開発部門責任者等の経営層、また現場の研究者や技術者の方々等にご紹介し、得られた成果を広く役立てていただくため、成果報告会を開催致します。多数の方のご参加をお待ちしております。

日時：2019年3月13日（水）10:30～12:30（開場10:00）

会場：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 20階会議室
（東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル）

定員：100名（事前申し込み先着順）

参加費：無料



プログラム

- 開会挨拶
- 事業説明
- 成果報告
- 講演 「医療機器開発におけるデザインアプローチ活用の可能性について」

厚生労働省

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業採択5課題

スタンフォード大学 主任研究員 池野文昭

- パネルディスカッション

プログラムスーパーバイザー 大分大学学長 北野正剛

スタンフォード大学 主任研究員 池野文昭

厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室室長 高崎洋介

事業採択課題 発表者

- 閉会挨拶

プログラムスーパーバイザー 大分大学学長 北野正剛

※構成、内容、講演者につきましては今後変更される可能性があります。

参加登録方法: 下記ホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。

『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業』成果報告会

https://www.amed.go.jp/news/event/20190313_shinko-kiki.html

【主催】 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

【お問合せ先】

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部 医療機器研究課 開発途上国・新興国等事業担当

電話：03-6870-2213

E-Mail：shinko-kiki@amed.go.jp

東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル23F



国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development